

次第

- 令和6年度 第2回 事業者分科会 -

日時：令和6年9月11日（水）15：30～

場所：富士見町役場 302-303階会議室

1. 脱炭素推進に係る説明

2. 行政に係る事例紹介（el Designより）

3. 施策例

- ①温暖化の現状認識が必要⇒省エネ診断・支援体制等
- ②商工会の中から脱炭素経営のモデル事業が出てくれるような働きかけ
（商工会へ講演会の開催など）
- ③モデル事業者の取組推進（再エネ・省エネ）
- ④モデル事業での経費削減事例など紹介



議事録

- 分科会の検討目的の一つに「地球温暖化対策実行計画区域施策編」作成（～2025/3）への貢献が含まれる
- 取引先からの具体的な取り組み要請はまだない。現在はデータ取りをしているのみ。温暖化対策へお金掛けるメリットの見出しが必要か。
- 事業所には省エネ担当者となる人はいるがメイン業務ではないため、協力が得られにくい。
- 各企業で省エネに特化した人がいない。
- 農業振興地域では営農型太陽光の導入には課題が多い。農業振興地域以外での検討は可能。
- 農業分野については関係者を集めた”農業サブ分科会”が必要ではないか。
- 事業者向けアンケートについて分科会メンバーにも意見を聞いてみてほしい。
- 企業の省エネ推進には経営者の理解が重要で、経営者向けの脱炭素推進の啓蒙活動が必要である。

次回の宿題

中長期の目標イメージの説明

⇒ 第3回 地球温暖化対策推進委員会へ主査・副主査を呼び、委員会の取組と分科会の在り方について再確認する。

商工会を対象にした学習会の開催を検討してみる。

⇒ 商工会長と事前打合せ

